

——「学術情報センター報」は「総合情報センター報」に名称変更しました——

目次

■ □ 総合情報センターが誕生しました	➤ 1
■ □ データベースにトライしよう！	➤ 2
■ □ 総合情報センター所蔵資料紹介	➤ 4
■ □ 情報メディア課からのお知らせ	➤ 6
■ □ 情報システム課からのお知らせ	➤ 7
■ □ NEWS & お知らせ	➤ 8

総合情報センターが誕生しました

2001年4月1日付で同志社大学学術情報センターは「同志社大学総合情報センター」とその名称を変更しました。

高度情報化社会においては、多様で大量の情報のなかから本当に必要な情報を効率よく取得し、それを運用する知恵が求められます。

これまで「図書館」は大学の「心臓」(Heart of University)と言われてきたように、大学の学術研究において中枢的な役割を担ってきました。情報化の進展により、学術情報の形態も従来の紙媒体に加えて、CD-ROMやオンラインデータベースのように多様なデジタル化された媒体が出現しています。さらに、電子図書館、バーチャル・ユニバーシティ構想の実現も間近に予想されています。したがって、情報処理の道具として、コンピュータやネットワークはいまや欠かせないものとなっています。情報を図書も含めたトータルなものと考えたとき、これからの情報処理は単にコンピュータなど情報機器の操作技術を習得するだ

けでは不十分で、コンピュータを使って「情報」をどのように「処理」し、どのような「知」を創造するかが重要です。

同志社大学総合情報センターは、このような知の情報化ともいうべき時代に対応するため、学術資料サービスの情報化、多様な情報のマルチメディア・コンテンツ化、これらを支えるネットワーク、情報処理施設・設備などの情報インフラの運用・管理等々の機能を有機的に統合して、従来の「学術情報センター」からさらに一歩進めた未来志向型のより総合的な「情報センター」を目指しています。

情報を扱うことの基本は、本学の建学の精神にあるように、一人一人が自立して「良心を手腕に運用」することに他なりません。新しくなった総合情報センターでは、みなさんの学生生活が、情報環境を有効に活用して、豊かで個性的な、充実したものになるようこれからも多方面からサポートしていきます。

データベースにトライしよう！

4月から新たに導入したオンラインデータベースについてご紹介します。ホームページ（同志社大学／総合情報センター／学術情報検索）からアクセスできます。

日経テレコン21

日本経済新聞社が提供する、新聞記事や企業情報を中心とした総合データベースサービスです。

日経4紙については1975年から当日の朝刊まで、The Nikkei weeklyは1983年から最新の記事についての全文検索が可能です。思い付くキーワード（何に関する記事か）、掲載の期間（何年何月からの記事）を入れるだけの簡単な操作で記事の見出しおよび本文の全文出力ができます。また、日経4紙の2000年1月以降の記事はPDF形式で紙面そのままのイメージでの出力が可能ですので、写真や図表も取出すことができ、大変便利です。

新聞記事ばかりでなく、企業情報・人事情報の検索もできます。このほか、株価・債券・経済統計などもあります。

LEXIS-NEXIS Academic Universe

LEXIS-NEXISが提供する教育機関向けの総合情報データベース。米国（連邦・州）判例・法令・リーガルニュースを中心とする法律情報（LEXIS）と世界最大の記事情報（NEXIS）の各データベースから構成されています。

5つの分野（メニュー）から5000以上の情報源にアクセスできます。たとえば“News”からは、アメリカの最新ニュースから雑誌は過去20年までさかのぼって検索できるものもあります。また英語以外でも、スペイン語・フランス語・オランダ語・イタリア語・ドイツ語の雑誌・新聞がその言語ごとに検索できます。

“Business”ではビジネス誌、企業情報、産業ニュースなど幅広く収録しています。

“Legal Research”には、米国やカナダの法律情報のほか、欧州連合の法令データベース（CELEX）も含まれています。ここからはEU加盟国における法令も検索できますので比較調査などに役立ててください。

収録範囲は各資料によって異なりますが、ほとんどが全文で提供されています。検索結果はEメールで送ることもできるので自分のアドレスに送付すれば、あとで印刷したり、レポートに利用したりすることも可能です。日本語のユーズガイドが用意されていますので、詳しい使い方やFAQを見ながらの操作ができます。

SourceOECD

OECD(Organisation for Economic Co-operation and Development)の全出版物（1998年1月以降の定期刊行物・単行本）のオンラインサービスです。各論文・記事はPDF形式での全文表示が可能です。

最初の画面は単行本（Books and studies）のページになっているので、左フレームのThemeから主題分野およびタイトルを選択します。まず抄録（Abstract）が表示されるので、本文(Full text)が読みたければそのボタンをクリックします。

逐次刊行物（Periodicals）の検索には、画面上部のタグから移行します。図書の場合と同様に左フレームからタイトルを選ぶとそのジャーナルの目次(Contents)が表示されます。こちら概要(Expand)および本文を出力することができます。“OECD Economic Outlook” “OECD Economic Surveys”は印刷物より6週間も早くこのSourceOECDで閲覧できます。

Oxford University Press (OUP)

Oxford University Pressが発行するオンラインジャーナル全タイトルのデータベースです。

計算機科学、生命科学、医学などの自然科学分野に加え、人文科学及び社会科学分野を含む約150誌が閲覧できます。各論文・記事は全文（PDF及びHTML TEXTファイル）で提供されています。

雑誌名のアルファベット順リスト（Journal by Title）、あるいは分野別リスト（Journal by Subject）から希望する雑誌を選択してください。新しく収録された雑誌（New Journals）はトップページに紹介されます。このOUPは、国立情報学研究所（NII）により2002年3月21日まで試験提供されているものです。

このほかにもあります

この他に、以前より提供しているデータベースがありますので、あわせてご紹介しましょう。

新聞記事のデータベースとして日経テレコン21と並んで朝日DNAがあります。1985年から当日の朝刊まで、また、各地方版も網羅しています（沖縄は除く）。『AERA』の記事も検索できます。

MAGAZINE PLUSは雑誌記事索引の国内最大のデータベースです。学術雑誌や一般誌、経済誌、学術論文など総計520万件が、記事・論題、誌名、著者、キーワード、刊行年月日から探せます。

ProQuestは米国の新聞と一般誌のデータベースです。New York Timesの90日分が全文出力できるほか、32紙の検索もできます。雑誌は2000誌以上の収録があり、記事の全文あるいは抄録が出力できます。雑誌名での絞り込みもできますので、特定の雑誌から記事を探したいときに便利です。このほか、学位論文（Dissertation）の検索および抄録の閲覧もできます。日本語の使用説明がありますのでどなたでも簡単に操作することができます。

Ei Compendex Webはエンジニアリング関連の文献情報データベース。1970年からの雑誌論文や技術レポート・学会発表など幅広くカバーしており、引用文献情報、論文要旨も含まれています。

データベースは宝の山

このようにインターネットで検索できるデータベースが優れているのは、時と場所を選ばない、つまり、同志社のネットワークに接続できればそこがあなたの図書館であり研究室になりうる点です。また、同志社大学所蔵データベースであるDOORSで検索したり、全国の大学の所蔵資料を検索したりしながら、自分の手で資料の入手、あるいは所蔵館の特定までできるのです。

まずは、使ってみること。難しく考えないで、思い付く言葉で検索してみてください。絞り込みのコツや、効果的な方法はそんな中から自ずとわかってきます。また、同じ分野のデータベースでも、検索方法が異なったり、結果が異なったりします。それぞれの個性がわかるようになればしめたものです。

もちろん、図書館でも手助けやアドバイスを惜しみません。レファレンスカウンターまでお気軽におたずねください。実際の資料の利用（学外・海外の所蔵資料）については、図書館のカウンターが窓口となっています。

データベース講習会の開催

図書館では、データベースの提供会社の講師による利用講習会を企画しています。現在、受講の受付を開始しています。定員に達したところで締め切りますので、お早めにお申し込みください（今出川・京田辺両校地実施）。

日経テレコン21 定員 40名	朝日DNA 定員 40名
京田辺 5月29日（火）4、5講時 TS101・102 今出川 6月 4日（月）2、3講時 K21	京田辺 6月5日（火）4、5講時 TS101・102 今出川 6月4日（月）5講時 K21
Source OECD 定員 20名	ProQuest 定員 40名
京田辺での開催はありません 今出川 6月6日（水）3、4講時 N23	京田辺 6月12日（火）4、5講時 TS101・102 今出川 6月13日（水）2、3講時 N23
MAGAZINE PLUS 定員 20名	LEXIS-NEXIS Academic Universe 定員 40名
京田辺 6月20日（水）2、3講時 TS101 今出川 6月21日（木）3、4講時 K21	京田辺 7月 4日（水）1、3講時 TS101・102 今出川 7月 5日（木）3、4講時 K21

総合情報センター所蔵資料紹介

『明治の読売新聞』

【今出川 逐次刊行物 PRM 161】

「降る雪や明治は遠くなりけり」と詠んだのは俳人・中村草田男（1901—83）でしたが、皆さんは、この明治という時代にどのようなイメージを喚起されるのでしょうか。先句の詠感のように遠い昔を覚えるひともいるでしょうし、身近を取り巻く近代的事物のルーツの時代として、親しみを持たれるむきもあるかもしれません。

今回紹介するCD-ROM『明治の読売新聞』は、その名の通り明治期の読売新聞をデータベース化したものです。読売新聞は、「仮名が読めれば新聞が理解できる」との信念にもとづき、大衆の啓蒙を目的に発刊されました。このため、当時の女性や子供にも親しめるように漢字には総ルビを振り、日常のやさしい言葉で町の事件や話題を解説する編集方針をとっていました。

その結果、近代化を急ぐ日本の状況、歴史上の偉人たちの活躍、また激動の時代を生きた庶民の生活をいきいきと伝えており、新聞記事を通して明治時代を透視する恰好の資料となっています。

さて、39枚のCD-ROMからなる『明治の読売新聞』は、創刊した明治7年（1874）11月2日から明治45年（1912）7月30日までの紙齢1万2655号、約7万頁のイメージファイルを収めており、60万件に及ぶ記事には、整備のいき届いた索引ファイルが準備されています。

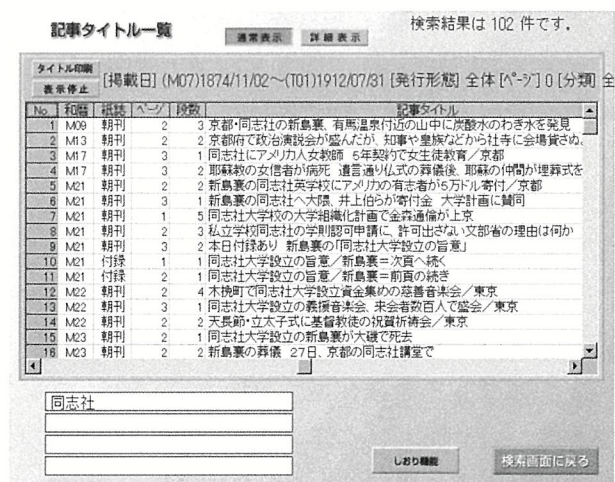
特に索引ファイルの完成には、4年の歳月と多くの労力が注ぎ込まれました。旧漢字が使われ、変体仮名の多い明治期の新聞を利用しやすくするため、記事を一つひとつ丹念に読み込み、現代語による見出しタイトル、キーワード、分類コードが付与されています。つまり、現代語でも当時の言葉でも、容易に検索できる工夫が施されているのです。

また、記事に含まれる同意語・狭義語・関連語の辞書化も行われ、検索ガイドとして提供されます。例えば、「東京大学」というキーワードには「東大」（同義語）、「東京開成学校」「第一高等学校」「東京帝大」「工部大学校」（狭義語）「医学校」「帝

大」（関連語）などの言葉が辞書に登録され、検索時に画面上で参照することができます。

従来古い新聞は、縮刷版やマイクロフィルムで各紙面を開き、気の遠くなるような手間をかけて記事を探るのが常でした。しかし、この索引ファイルのおかげで、速くかつ精度の高い探索が可能になっています。『明治の読売新聞』の卓越した利便性は、この索引ファイルに尽きるといって過言ではありません。

利用するには、まず索引CD-ROMを使って探索したい主題のキーワードを投入し、そのキーワードに適合する記事タイトルの一覧を表示させます。ちなみに「同志社」をキーワードとして検索してみますと、102件の記事の存在が確認できました。そこには、「京都・同志社の新島襄、有馬温泉付近の山中に炭酸水のわき水を発見」（1876/10/10）「私立学校同志社の学則認可申請に、許可出さない文部省の理由は何か」（1888/10/21）など、現代語に直した記事タイトルがみえます。（下図参照）



読みたい記事が決まれば、画面の指示に従って対象年代の記事CD-ROMを挿入し、本紙面をイメージファイルで読むこととなります。表示された記事は、画面の拡大や縮小はもちろん、特定箇所には絞った印刷も可能となっています。

皆さんの日常学習やレポート作成に、このCD-ROM『明治の読売新聞』を活用してもらい、その過程で明治の息吹や鼓動を感じ取るなど、新たな世界を発見してもらうことを願ってやみません。

江戸川乱歩著 ^{はりまぜねんぶ}『貼雑年譜』(東京創元社 完全復刻版)

【今出川 閑架 910.268 E9549】

江戸川乱歩——。この名をきいて、『少年探偵団』『怪人二十面相』など、年少の頃に少年探偵シリーズを読み耽り、明智探偵や小林少年の活躍に胸躍らせた記憶が甦る方も多いのではないのでしょうか。

江戸川乱歩(1894-1965)は、大学卒業後、造船所事務員や屋台のそば屋など各種の職業を転々とした後、1923(大正12)年雑誌『新青年』に投稿した短編「二銭銅貨」で世に認められました。それ以降、独創的なトリックと斬新な物語設定の作品を次々に発表し、読者の喝采を博しました。現在では日本の近代的推理小説・探偵小説を確立した巨星と評価され、代表的な作品はテレビドラマでもお馴染みです。

全集も数種類が刊行され、作品や関連資料を目にすることは容易ですが、未だ知られざる幻の資料が存在していました。それがここに紹介する『貼雑年譜』(完全復刻版)です。

スクラップは全9巻からなり、その期間は1894(明治27)年から1965(昭和40)年に及んでいます。今回復刻されたのは、このうちの戦前分2巻であり、少年時代の家の間取り、中学時代の授業ノート、探偵小説家となるまでの放浪と遍歴の記録、自作への書評や出版広告、知人からの書簡類、海外推理小説界の紹介記事などが収められています。その結果、乱歩の推理作家としての来歴や創作過程の研究、ひいては日本の推理小説・探偵小説形成史の面でも、重要な位置を占める歴史的資料となっています。

さて、これほど重要な『貼雑年譜』が何故今まで復刻されなかったのでしょうか。その理由は、数多くの新聞や書簡が重ね貼りしてあること、また貼付記事の裏側までメモが記入されていることから、オリジナルを再現するには、印刷や造本面で技術的な対応が困難であったからです。

過去講談社によって復刻が試みられましたが、



第二次世界大戦のさなか、乱歩は創作活動の休止を余儀なくされました。この期間中に、常日頃溜めていた自分に関する新聞記事の切り抜きや書簡類をスクラップ帳に貼り付け、自筆のメモや解説・図版を添えて、自らの足跡を記録していました。このスクラップ帳こそが、『貼雑年譜』と呼ばれ、従来門外不出とされていたもののなのです。

もともと乱歩は、偏執狂的な記録癖・整理癖の持ち主でした。戦争が影を落としていた時代、記録マニアの彼は、自己の来し方を振り返る孤独な営みに、おそらく嬉々として熱中していたに違いありません。その中身は、まさに「スクラップ帳による江戸川乱歩自伝」と呼べる詳細な自分史となっています。

それは2巻から半量を1冊にまとめ、復元の難しい貼り込み頁を割愛したものでした。

今回の東京創元社版は、約8年の準備期間のもと、オリジナル版を忠実に再現する努力が払われました。版元の説明では、貼付記事の裏側を撮影するためいったん綴じを解体し、乱歩が使った糊の成分分析まで行って、記事各片を剥がしたということです。

既に限定200部は完売のため、限られた公的機関でしか閲覧できませんが、同志社大学でも1部を購入することができました。興味を持たれた方には、是非いちど手にとって、じっくりご覧いただきたい資料です。

情報メディア課からのお知らせ

■メディア工房のリーフレットができました

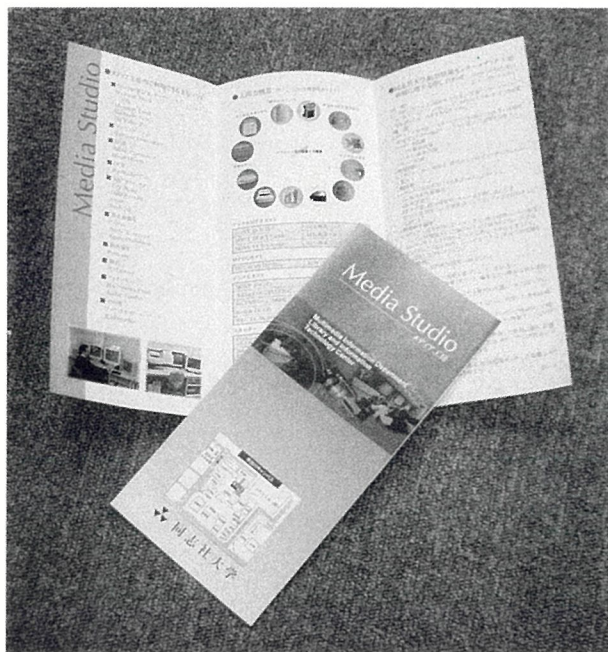
メディア工房のリーフレットを作成しました。

メディア工房はマルチメディア技術を大学の教育・研究に活用するために1996年寧静館2階に設置されました。メディア工房には少人数での撮影ができるスタジオ及び調整室、動画編集や文書形式変換ができるソフト等を備えたPCコーナー、海外の規格や様々なテープ間のダビングや編集が可能なビデオ編集コーナーがあります。

リーフレットは各研究科事務室、情報メディア課事務室に置いてあります。どうぞご利用下さい。

※メディア工房の利用方法の詳細につきましてはリーフレットに記載しています。また、総合情報センター利用案内や下記のホームページにもメディア工房について詳しく紹介していますのであわせてご覧下さい。

<http://www1.doshisha.ac.jp/~media/index.htm>



■新しいビデオ配信システムが稼動しています

情報メディア課では、インターネットを通じて動画像や静止画、音声、テキスト情報などのマルチメディアデータをストリーミング^{※1}形式で配信するビデオサーバー（ストリーミングメディア）システムを導入しました。

既に同志社大学のホームページで大学紹介ビデオなどを公開しています。

<http://www.doshisha.ac.jp/whatsnew/doshishav.html>
また、今年の4月から開講されているインターネット授業においても、このビデオ配信システムが利用されています。今後、大学の広報や教育・研究の幅広い分野での活用が期待されています。

※ストリーミングメディアシステムに登録されているビデオを視聴するには、リアルプレーヤー^{※2}をダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります（教室のパソコンにはすべてインストール済みです。ヘッドフォンのある教室^{※3}で視聴できます）。

※1 視聴者は、比較的大容量であるビデオ・音声ファイルの全体がダウンロードされるまで待つ必要はなく、ファイルの一部がダウンロードされ始めた時点より視聴が可能となるように配信される技術

※2 バージョン8.0以上。有償版PLUSと無償版BASICがあります。無償版でご覧になれます。<http://www.jp.real.com>よりダウンロードできます。

※3 パソコンにヘッドフォンが装備されている教室は以下のとおりです（教育用の利用に限ります）。

京田辺校地：KD101、KD102、TC1-132、
TS301、TS302

今出川校地：N23、N地1、N地2

同志社大学案内ビデオ

Learn To Live and Live To Learn

生きるために学び。学ぶために生きよ。

わが校の歴史をくぐり抜けたものは、政治家に
なればよい。実業家にならばよい。
教育家にならばよい。大企業にならばよい。
且つ少の者あるも、大企業あるも、
ただかの後進不断にして希望を食ひ、
皆くも船底の針を鳴らすかき教養には決して
これ子の切に望み、ひとえに幸うとこめであ

新島襄 片断より



V O D形式にてご覧いただけます
(1998年 COLOR STEREO 17分)

情報システム課からのお知らせ

ソフトウェア利用マニュアルの貸し出しについて

今年度よりMicrosoft Office97からOffice2000にアップグレードを行いました。また、UNIXを利用した授業も多くなっています。これらの新規に導入されたソフトウェアやOSの利用に役立てるために、情報システム課では、以下のマニュアルの貸し出しを行っています。

- ・ひと目で分かるWord2000
(他、Excel2000、Access2000、PowerPoint2000)
- ・Word2000パーフェクトマスター
(他、Excel2000、Access2000)
- ・Excel2000 SUPER MASTER
- ・SASによるデータ解析の基礎
- ・SPSS for Windows入門
- ・実習UNIXシェル
- ・入門UNIXシェルプログラミング
- ・入門UNIXオペレーティングシステム
- ・新Visual Basic入門
- ・新Visual C++6.0入門
- ・Photoshop6.0スーパーリファレンス
- ・まるごと秀丸ブック
- ・Pro/ENGINEERの基礎から応用へ(京田辺校地)

なお、これらのマニュアルを利用する場合には、学生証が必要となります。また、学外への持ち出しはお断りしています。

パソコン版日経NEEDSデータ抽出について

従来、日経NEEDSデータの抽出については、大型計算機で動作するDIMS2 (Doshisha 'Information in Menu' System2) が利用されていました。今年度より利用者の利便性を考え、大型計算機を利用しないで情報処理実習教室等に設置されたパソコンでデータの取り出しが行えるよう、教育データベース検索システムを構築しました。取り出せるデータについては、日経NEEDSデータのうち、総合経済データと企業財務データとなっています。このシステムの利用方法については、情報システム課で配布している手順書を参照してください。

Webmailシステムについて

WWWブラウザを使用して電子メールを利用することができるWebmailシステムのサービスを提供しています。WWWブラウザから以下のURLに接続してください。

<http://webmail.doshisha.ac.jp/>

このサービスを利用すると、インターネットに接続されている機器(パソコン)とWWWブラウザがあれば学内・学外問わずメール確認を行うことができます。また、この4月から携帯電話からのメール送受信も利用可能となっています。(一部利用できない機種があります。)なお、操作手順についてはオンラインヘルプまたはユーザズマニュアルを参照してください。

ユーザIDとパスワードについて

入学時に全員に配布しているユーザIDとパスワードは、パソコンやネットワークサービスを利用する上で非常に重要なものです。あなたのパスワードを知った第三者が自分になりすまし、悪用されたりしますと、その結果発生する被害に対する責任を負わなければなりません。パスワードは定期的に変更しユーザIDと共に記憶してください。なお、ユーザIDについては卒業するまで変わりません。

また、パスワードの変更はホームページから行うことができます(学内からのみ)。

<http://www2.doshisha.ac.jp/network/settei/index.html>

計算機施設利用上のマナーについて(飲食の禁止)

情報処理実習教室、オープン利用室等、計算機施設での飲食は厳禁です。パソコンを始めとする機器にとって、水分は禁物です。情報処理実習教室等に設置されているパソコンは、多数のユーザで共有して利用するものですので、利用に際しては「情報処理実習教室等、計算機施設では飲食しない」という、最低限のマナーを守るよう心掛けてください。

NEWS & お知らせ

総合情報センター利用時間(6～10月) (臨時の変更は掲示にてお知らせします。)

日曜・祝祭日は原則として閉館、閉室します。図書館については、開講期間のみ日曜開館しています。

● 今 出 川 校 地

		図 書 館		情 報 シ ス テ ム 課	
		1・2階	第1・2閲覧室、マルチメディア・ライブラリー パソコン・コーナー、EU資料センター	計算機施設	窓 口
7/14まで	月～土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-22:00	9:00-21:45
7/16～7/31	月～金 土	9:00-22:00 9:00-22:00	9:00-21:30 9:00-21:30	9:00-19:00 9:00-17:00	9:00-17:00 9:00-12:00
8/1～8/10	月～金	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-16:00	9:00-16:00
8/11～8/19 夏 期 一 斉 休 暇					
8/20～9/14	月～金	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-16:00	9:00-16:00
9/17～9/29	月～金 土	9:00-20:00 9:00-16:00	9:00-19:30 9:00-15:30	9:00-19:00 9:00-17:00	9:00-17:00 9:00-12:00
10/1～10/25	月～土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-22:00	9:00-21:45
10/26	金	9:00-19:00	9:00-18:30	9:00-19:00	9:00-17:00
10/27～10/31	月～土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-22:00	9:00-21:45

※今出川図書館の開架書庫、講武館書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。

● 京 田 辺 校 地

		ラーネッド記念図書館			情 報 シ ス テ ム 課	
		2・3階	1階読書室	書庫、パソコンコーナー マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓 口
7/31まで	月～金 土	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
		9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00
8/1～8/10	月～金	9:00-16:00	閉 室	9:00-15:30	9:00-16:00	9:00-16:00
8/11～8/19		夏 期 一 斉 休 暇				
8/20～9/14	月～金	9:00-16:00	閉 室	9:00-15:30	9:00-16:00	9:00-16:00
		9:00-17:00	閉 室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
9/17～9/29	月～金 土	9:00-12:00	閉 室	9:00-11:30	9:00-17:00	9:00-12:00
		9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
10/1～10/25	月～金 土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00
		9:00-17:00	閉 室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
10/26	金	9:00-17:00	閉 室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
10/27～10/31	月～金 土	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
		9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00

※ラーネッド記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。

★日曜開館のお知らせ

(今出川図書館・ラーネッド記念図書館)

右表のとおり、開館します。
開架資料の閲覧・コピーに限ります。
なお、8月、9月の日曜開館はありません。

月	日	開室・利用時間
6	3, 10, 17, 24	(今出川) 開架閲覧室 雑誌室、参考図書室: 10:00-17:00 EU資料センター: 10:00-16:30
7	1, 8, 15, 22, 29	(ラーネッド) 開架閲覧室 参考図書・雑誌室: 10:00-17:00
10	7, 14, 21, 28	

総合情報センター施設の利用について

総合情報センター施設の入館、入室および資料の貸出、閲覧等の利用には「学生証」等または「社員証」が必要です。

「利用カード」について

「学生証」等または「社員証」の交付を受けることができない方が図書館を利用する場合には、「利用カード」が必要です。両校地図書館カウンターで発行手続をとってください。

利用案内の配布について

『総合情報センター利用案内』(2001年度版)を両校地図書館、情報メディア課、情報システム課等で配布しています。

同志社大学総合情報センター報 No.21

2001年6月1日発行

編集・発行 同志社大学総合情報センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 ☎075-251-3960